

## 日本農業気象学会2009年度第4回理事会議事録

日 時：2009年12月11日（金）13:00～17:00

場 所：東京大学農学部7号館 A 棟717号室（東京都文京区弥生1-1-1）

出席者：岡田，青木，大政，蔵田，小林，皆巳，田中，五十嵐，富士原，菅谷，大野，吉本，平野

欠席者：皆川，後藤，朝倉，黒瀬，星，町村，小沢，北野

### [ 議事録確認 ]

#### 1. 2009年度第3回理事会議事録報告（資料1）

報告の通り承認された。

### [ 報告・連絡事項 ]

#### 1. 2010年全国大会の進捗状況（資料2）

資料に基づき報告された。

実行委員会が設定したオーガナイズドセッションのテーマは妥当であると認められた。

#### 2. 2010年全国大会のシンポジウムおよび公開講座について（資料3）

資料に基づき報告された。

#### 3. 学会賞表彰と永年功労者表彰について（菅谷）

・学術賞3件、普及賞1件、論文賞2件、奨励賞1件が推薦され、学会賞審査委員会の審議により全件が候補に決定した。

・永年功労会員表彰には3件の推薦があり、永年功労会員表彰審査委員会審議により全件が表彰の候補に決定した。

・投票を1月中に実施する。

#### 4. 学会賞審査員の交代（小林）

2名の審査委員が授賞者として推薦されたので規約に基づき当該委員が交代した。審査委員の交代については、今後も遅滞なく実施することが確認された。

#### 5. 学会誌の出版状況（松岡）

・農業気象 65 巻 3 号が発行された。英語論文 1 編，和文論文 4 編，英文短報 1 編，資料 1 編が掲載される。

・生物と気象第 9 巻が発行された。講座 5 編，会議報告 1 件，支部報告 4 件，学会賞受賞記念講演要旨 3 編が掲載される。

#### 6. その他（資料6）

##### 1) 日本地球惑星科学連合（平野）

定款改定，博物館法見直し反対の声明，事業仕分けに対する意見書，大型研究についての議論等の活動状況が報告された。

##### 2) 日本農学会（資料4）（大野，平野）

・21年度第2回運営委員会が開催された。この場で農学賞選定方法の改善に向けた意見が求められた。

・22年度シンポジウムへはテーマ提案を行わないこと、学会からは次期会長副会長候補者を推薦しないことが合意された。

・農学会での取り纏めのために、学会としての「事業仕分け」への要望を農学会に提出した。

・次年度の日本農学会運営委員は、平野総務理事が担当する。

##### 3) 日本農業工学会

CIGR シンポジウムが東京・船堀会館で開催される。

4) 協賛，共催など（大野）

- ・以下を共催とした；第56回風に関するシンポジウム。
- ・以下を協賛とした；第20回 SHITA シンポジウム、地球惑星連合2009大会 iLEAPS-MAHASRI 連携セッション、2009年度生態工学会定例シンポジウム。
- ・以下を後援とした；日本学術会議公開シンポジウム「持続可能な食料生産：RS/GIS/GPS 技術の応用」

[ 審議事項 ]

1. 学会賞審査体制について（規程改正）（資料5）（大野）  
第3回理事会の決定に基づく改正規約の条文案について検討した。検討結果をもとに改正案を修正してメールで供覧し、そのうえで承認する。
2. フェローの称号について（規程改正）（資料6）（大野）  
資料の当該箇所のとおり改正が承認された。過去の表彰者にも称号の使用を認めることとし、学会ホームページにて周知する。なお、表彰状の文面案についてもメールで供覧し確認をとる。
3. 学会賞について（規程改正）（資料7）（大野）
  - ・論文賞を論文に授与するとして2007年2回理事会の決定について重ねて審議し、会員に授与することが決議された。
  - ・学術賞、普及賞について、授賞者数に関する制限を削除する。
4. 終身会員制度について（平野，五十嵐）  
他学会の例を参考に、設置の理念を検討した。次回理事会で素案を提示して検討する。また、賛助会員の表彰を新設することが提案され、次回理事会で検討することとなった。
5. 養賢堂との契約について（資料8）（五十嵐）  
資料の通り契約することが承認された。契約の自動更新が承認された。
6. 編集委員の委嘱（資料9）（松岡）
  - ・ISAM 編集体制維持のため、資料の通り委員を委嘱することが承認された。
  - ・下町多佳志委員の逝去に伴う編集委員の補充を九州支部に依頼している。
7. 掲載論文に関する意見について（資料10）（松岡）  
農業気象掲載論文に関してなされた岩井邦中氏の意見について、学会は関与せず要望も受け入れないことが合意された。
8. 学会誌のあり方（資料10）（松岡）  
英文誌を発行すること、ISI 登録を目指すこと、財政的負担を500万円程度とすること、編集の人的負担はこれまで程度とすることが方針として合意され、具体化に向けた検討を続ける。
9. 学会運営などについて（岡田）
  - ・大会に参加した学生を入会に導く方策を参加費の設定について検討し、鹿児島大会（2011年）での試行を目指す。具体案について会計理事が検討する。
  - ・施設園芸や温暖化など、学会として出前講義を受け入れられる体制を作ることを目指し、今後検討する。
10. その他
  - 1) 次回理事会：第一候補3月17日10:00～11:45（全国大会の初日，評議員会の前）
  - 2) その他
    - ・来年度の予算について素案が示された。

- ・次の賞牌の選定を開始する必要性が指摘された。
- ・学会のパンフレットを作成するために、現在のものを理事に供覧し構成について意見を集める。